

# 間伐材など山形県産チップを、 いぶ燻して発電！



やまがたグリーンパワー株式会社(山形県村山市)

1560kW



豊かな森林資源に恵まれている日本で、「バイオマス発電」の主要なエネルギー源のひとつとして注目されているのが「木材」。通常、木材チップによるバイオマス発電は、十分に乾かしたチップを燃やし、その熱で蒸気を発生させ発電しますが、「やまがたグリーンパワー株式会社」では日本でも数少ない「生木をいぶ燻して発電」しています。

「生木をいぶ燻すと一酸化炭素と水素ガスが発生し、これをエンジンの燃料に使い発電機を回します。他の方法と比べ、効率よく電気を得ることができます」と主任の鈴木崇之さん。使用するのは山形県内から集められたチップ。間伐材や果樹剪定枝など、自然の木を原料として活用しています。

地域に  
支えられて  
電気を  
作ってます！

鈴木崇之さん

